

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 5 日

仕事の内容	(仮称) 東大和郷土美術園の管理			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 4
【施策名】 市民文化の振興	総合計画書 (ページ)	41ページ

予算名	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費	事業 9 文化財施設管理費
-----	----------	-----------	-------------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →	市の人口
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 当市にゆかりの日本画家・吉岡堅二の作品に触れ、芸術作品を身近に感じ、芸術文化の素養を高める。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 来園者数 →
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
	整備途中である美術園の公開を行い、吉岡堅二の作品展示など各種イベントを開いた。 →	春3日間、秋3日間 ポストカード、図録、切手の販売

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698	
	成果指標	②の数値	人	3,900	1,652	1,269	
	目 標	②の目標値		800	1,620	1,260	
		目標値設定の考え方	1日の平均来園者が27年度163人、28年度186人、29年度206人実績であり、30年度は210人を目標とし主催開園6日で算出				
	活動指標	③の数値		21	11	7	

3 経費	事業費(実績)		円	7,024,496	3,276,788	2,928,404	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	7,024,496	3,276,788	2,928,404	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.5	0.5	
		所要人数(再任用)	人	0.2			
	職員人件費(再任用以外)	円	826,700	4,126,500	4,126,500		
	職員人件費(再任用)	円	594,800				
	事業費+人件費	円	8,445,996	7,403,288	7,054,904		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	平成5年度から、当市にゆかりの日本画家・吉岡堅二の芸術作品を身近に感じ、芸術文化の素養を高めることを目的に行っている。平成29年5月には、建物が登録有形文化財に登録された。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	平成30年度は作品の展示を行い、公開内容の充実化に努めた。秋の公開では、吉岡堅二氏の甥にあたり、染色家の吉岡幸雄氏による講演会を行った。

仕 事 の 内 容	(仮称) 東大和郷土美術園の管理			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見
この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
平成30年度は、堅二氏の作品の展示が大変好評だった。「製作に関わる情報をもっと増やしてほしい」、「町のためにもっと活用してほしい」、「公開日をもう少し多くしてほしい」などの意見があった。
また、園内に駐車スペースを工事により設ける予定であったが、近隣からの反対署名、また、駐車場の無償提供の提案があった。

6 市民協働
(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)

取り組んだ	取組手法	③事業協力
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()

(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点
文化財ボランティアとの更なる連携

7 課題
(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート「7 課題(2)」の内容
現在年2回の特別公開を実施しているが、多くの来園者に来ていただくため、公開内容の充実、PRに努めている。平成29年度は、春の公開では、登録有形文化財に登録された記念式典等、秋の公開では、箏の演奏会など、公開とともにイベントなど、実施することが課題と考えている。
(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
春の公開では、鎌田浩史氏とアンサンブルドリームによる演奏会やワークショップを実施した。秋の公開では、吉岡堅二氏の甥にあたり、染色家の吉岡幸雄氏による講演会を行った。また、建物だけでなく作品を知ってもらうため、春・秋それぞれテーマを決め、それに合った日本画を展示した。
(3)(2)を踏まえた今後の課題
多くの来園者に来ていただくために今後もリピーターを増やし、特に若い世代にも広く知ってもらうことが課題と考えている。さらに、吉岡堅二氏とゆかりのある人物と連携を高め、講演会などのイベントを開催することが重要である。

8 今後の方向性
(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など)
郷土美術園の春・秋の公開は、多くの来園者に来てもらえるように、内容の工夫を図りながら、文化財ボランティアの方々に協力をいただきながら、継続して実施する。
また、市のイベント行事などと連携を図るなど、来園者増に繋がる事業を検討していく。
建物に残る資料調査については、職員と美術作品調査員の協力をいただきながら、進めていく。
施設の整備や、常時公開については、整備方針を検討しなければならない課題である。
(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
公開については、文化財ボランティアの協力体制を継続しながら、公開、展示内容の充実を図る。
建物の資料調査は、引続き、武蔵野美術大学の講師や、学生に協力を依頼する。
今後、郷土美術園整備方針に向けた検討、常時公開については、現在の郷土博物館運営、組織などの現状を考慮し、関係部署へ職員配置等の要請を行っていきたい。
(3)改革・改善案による期待成果
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------